

令和7年度

川越市立大東東小学校

ふるさと学習フィールドワーク体験



第6学年

特色

- 私たちの町には、異なる時代の貴重な遺産が共存しているという特色がある。今回の調査では、山王塚古墳、かつての産業を支えた安比奈廃線跡、そして現在活気あふれる川越南高校などを巡った。古い歴史を大切にしながら、新しい世代の学びや生活がすぐそばで営まれている点は、この地域の大きな魅力である。過去から現在までの時間の流れを地続きに感じることができ、自分たちの住む場所への誇りが深まるフィールドワークとなった。

児童の感想

- いつも見ている景色の中に、こんなにたくさんの発見があるとは思わなかったので楽しかったです。廃線跡をたどると、線路はなくなっても道として残っていることに気づきました。調べていくうちに、どの場所もこの町にとって欠かせない宝物なのだと分かりました。

成果

- 実際に現地を歩くことで「なぜここに線路があったのか」「古墳は誰の墓だったのか」といった疑問を自ら見つけ、解決するプロセスを体験できた。高校などの現代の施設と歴史遺産が共存する様子を実地調査したことで、郷土への関心が一気に高まった。